



2023年3月期決算説明資料



2023年4月26日

メタウォーター株式会社

<セグメント情報>

- プラントエンジニアリング事業(略語:PE事業):国内EPC事業、海外事業
当セグメントでは、浄水場内の浄水プロセス、下水処理場内の下水処理プロセス、汚泥処理プロセス、燃料化プロセスに使用する機械設備の設計・建設と、それらを運転、監視、制御するための電気設備の設計・建設を核とした各種エンジニアリングを主たる業務としています。
- サービスソリューション事業(略語:SS事業):国内O&M事業、国内PPP事業
当セグメントでは、浄水場、下水処理場、ごみ処理施設・リサイクル施設向けの機械設備や電気設備の補修工事、運転・維持管理(保守・点検)、運営などの各種サービスを主たる業務としています。

<語句説明>

EPC	Engineering, Procurement and Construction:設計・調達・建設
O&M	Operation and Maintenance:運転・維持管理
PPP	Public-Private Partnership(公民連携):公共サービスの提供に民間が参画する手法
PFI	Private Finance Initiative:公共施設の設計・建設、運転・維持管理、運営、資金調達に民間を活用する公共事業の手法
DBO	Design, Build and Operate:公共施設などの設計・建設、運転・維持管理に民間を活用する公共事業の手法
コンセッション	公共施設の所有権と事業経営の認可を公的機関に残したまま、民間企業に事業運営権を長期間にわたって付与する手法

I 2023年3月期決算ハイライト

II 2024年3月期通期業績・配当予想

III 2023年3月期決算概要

I 2023年3月期決算ハイライト

II 2024年3月期通期業績・配当予想

III 2023年3月期決算概要

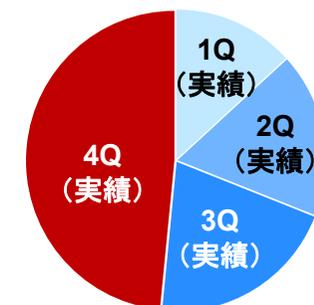
'23/3期 決算ハイライト（連結）

* 受注高

・前期実績を大幅に上回り、**受注高、受注残高共に過去最高値を更新。**

EPC事業、海外事業が好調に推移したほか、PPP事業の大型案件(大阪市汚泥処理施設整備運営事業ほか)を受注。 [受注残高：'23/3期末 2,287億円（前期比+427億円）]

'23/3期四半期別売上構成



* 売上高・利益

・増収増益。

・**営業利益が予想値を若干下回るも、経常利益、当期純利益は、ほぼ予想値通り。**

利益については、必要部材の長納期化や他社工事(土建)の遅れによる工期延期、運転・維持管理現場におけるユーティリティーコスト増加などの影響を受けた。なお、経常利益には円安影響による為替差益5億円を含む。

* 配当

・安定配当方針に基づき、年間42円(第2四半期末 20円・**期末 22円***)に増配。

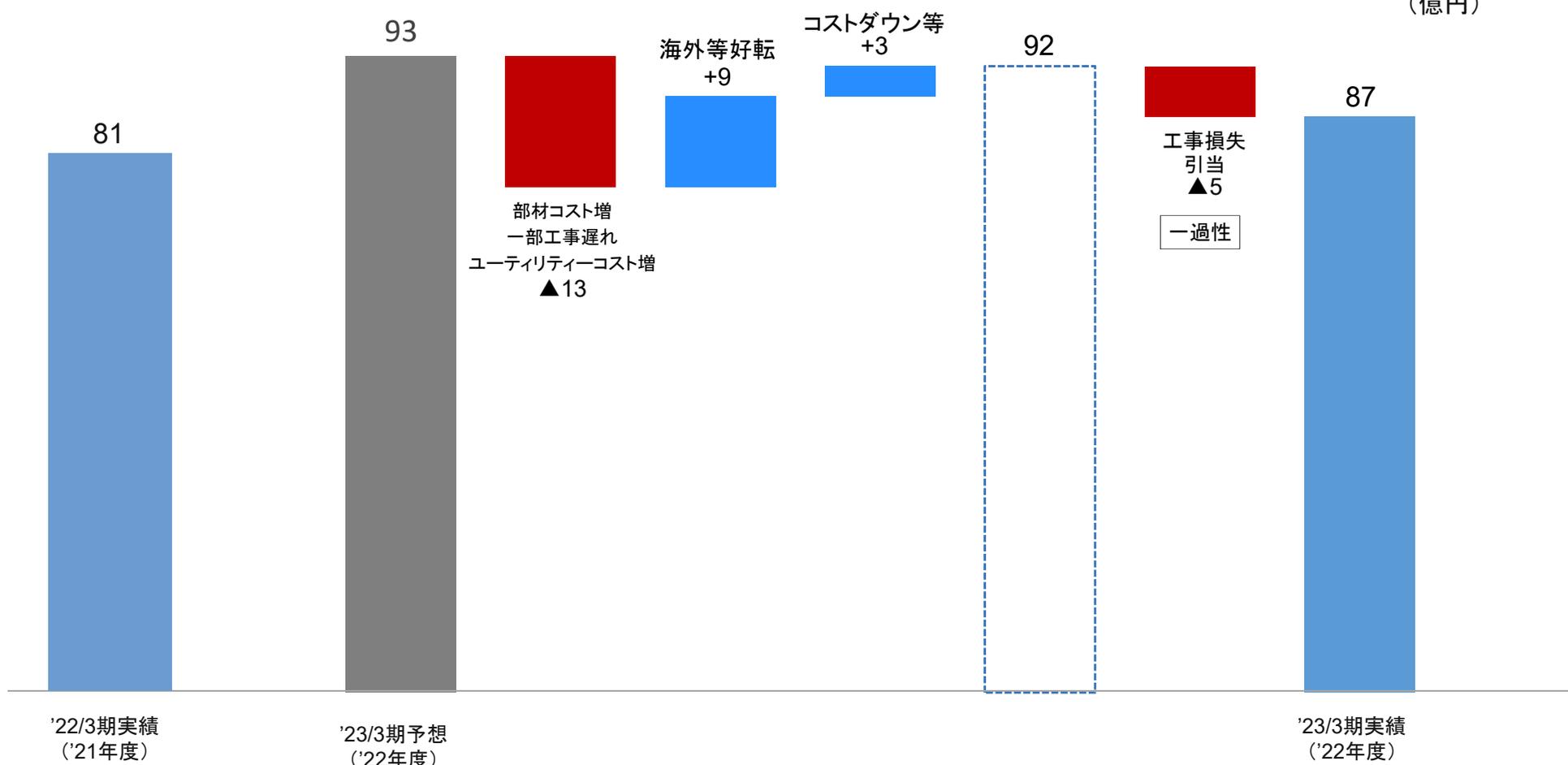
(億円)

	受注高	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり配当金(円)	
						第2四半期末	期末
'23/3期実績	1,934	1,507	87	91	63	20	5月決議予定
	予想比+534	予想比 +17	予想比 ▲6	予想比 ▲2	予想比 ▲0		22*
	前期比+411 +27.0%	前期比+152 +11.2%	前期比 +5 +6.7%	前期比 +3 +3.6%	前期比 +0 +0.1%		予想比+2
'23/3期予想 (2022年4月27日付)	1,400	1,490	93	93	63	20	20
'22/3期実績	1,523	1,356	81	88	62	20	20

営業利益増減要因('23/3期予想 vs '23/3期実績)

部材コスト増、一部工事遅れ、運転・維持管理現場におけるユーティリティコスト増などを海外
米国子会社の好転などでカバー。工事損失引当(一過性)により、予想値を下回るも増益を確保。

(億円)



2022年4月27日公表

事業活動

- * 「宮城県上工下水一体官民連携運営事業」(みやぎ型管理運営方式)がスタート(4月)
- * 「サステナビリティに関する基本方針」を制定(4月)
- * 「アクアポニックスパークおおふなと」が完成(7月)
- * 「下水高濃度返流水の省エネ型窒素除去装置」が一般社団法人日本産業機械工業会第48回優秀環境装置表彰「経済産業省 産業技術環境局長賞」を受賞(7月)
- * 世界最大のセラミック膜ろ過浄水場となる
英国 イングランド ハンプトンロード浄水場向けセラミック膜を受注(8月)
- * 大阪府堺市「石津水再生センター用水設備更新工事」において「ディスク式特殊長毛ろ布ろ過装置」(米国子会社のクロスメディアフィルター)が国内初採用(8月)
- * 「大阪市汚泥処理施設整備運営事業」の事業契約を締結(3月) ※詳細はP10

研究開発

- * 令和元年度(平成31年度)に実施したB-DASHプロジェクト*「単槽型硝化脱窒プロセスのICT・AI制御による高度処理技術」がガイドライン化(4月)
- * 「PFOS・PFOA吸着処理システム」を前田建設工業株式会社と共同開発 (11月)
- * 「新たなリン回収システムによる下水道の資源化に関する実証事業」が令和4年度補正B-DASHプロジェクト*に採択(2月)
- * ユニ・チャーム株式会社と紙おむつのリサイクル事業で共同特許出願、研究委託契約を締結(3月)

* B-DASHプロジェクト(Breakthrough by Dynamic Approach in Sewage High Technology Project) : 国土交通省が実施する下水道革新的技術実証事業

ESG

- * 下水道の大切さを紹介するオリジナル動画の最新版を公式ホームページにて公開(5月)
- * 一般向け、教員向けに研修や水循環の啓発活動を実施
 - ・ 一般財団法人経済広報センター主催「教員の民間企業研修」を実施(8月)
 - ・ 「メタウォーター打ち水大作戦2022」を実施(8月)
- * 宮城県女川町の秋の一大イベント「おながわ秋の収穫祭2022」に協力(10月)
- * 一般社団法人日本IR協議会の「IR優良企業賞2022」において「“共感！”IR賞」を受賞(11月)
- * 「エコプロ2022」において「水をめぐる大冒険実行委員会」ブースに協賛(12月)
- * 働き方改革の一環として「副業制度」を導入(3月)
- * 「誰もが場所を選ばない働き方」の実現に向けて「遠隔地勤務制度」を導入(3月)

大阪市汚泥処理施設整備運営事業

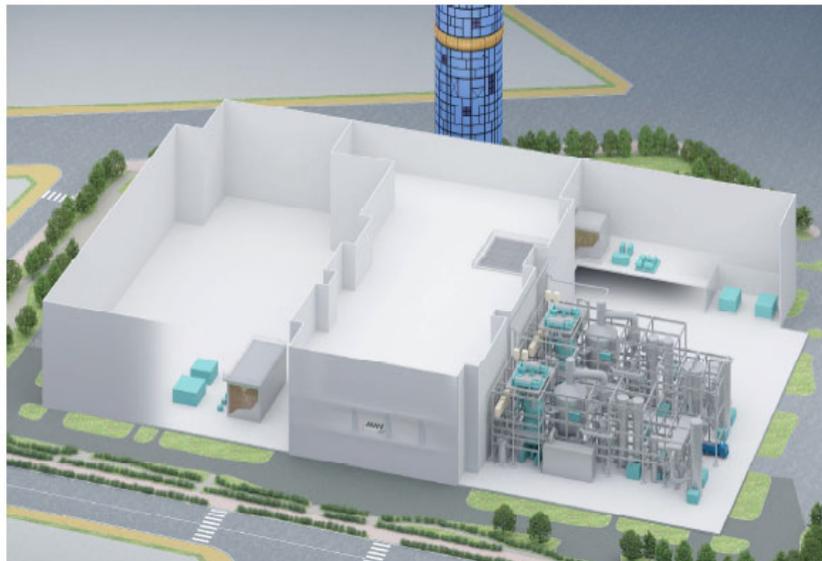


舞洲スラッジセンターと平野下水処理場の汚泥処理施設について、設備の改築更新および20年にわたる運転・維持管理、汚泥資源の有効活用などを一体的に行う事業を受託。

スケールメリットを生かし安定・安心な汚泥処理を実現し、下水道の持続とライフサイクルコストの最適化を目指す。

主な特長

- ・大阪市の下水道で発生する全量の汚泥を有効活用
- ・既存送泥ネットワークや汚泥貯留槽を活用し、汚泥の質・量の変動に対し、安定的かつ効率的な汚泥処理・有効活用を実現



舞洲スラッジセンター 施設完成イメージ



平野下水処理場 施設完成イメージ

I 2023年3月期決算ハイライト

II 2024年3月期通期業績・配当予想

III 2023年3月期決算概要

'24/3期 連結業績・配当予想

* 受注高

- ・'23/3期に大型PPP案件の受注があり前期実績を下回るも、長期的な伸長(3カ年平均)トレンドを維持。

* 売上高・利益

- ・インフレ、物価高騰対策としての従業員に対する処遇改善などを織り込み、'24/3期予想(「中期経営計画2023」目標値)を見直し。

* 配当・その他

- ・年間配当は44円(第2四半期末22円、期末22円)に**増配**予定。
- ・資本効率改善に向け**自己株式200万株を消却**。[自己株式残高416.8万株⇒216.8万株(発行済株式比率4.7%)]

(億円)

	受注高	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	年間配当(円)	
						第2四半期末	期末
'24/3期 予想	1,600 前期比: ▲334 ▲17.3%	1,550 前期比: +43 +2.8%	100 前期比: +13 +15.1%	95 前期比: +4 +4.8%	64 前期比: +1 +2.4%	22	22
	—	—	利益率: 6.5%	利益率: 6.1%	利益率: 4.1%	—	
'23/3期 実績	1,934	1,507	87	91	63	20	22
	—	—	利益率: 5.8%	利益率: 6.0%	利益率: 4.2%	—	

「中期経営計画2023」と'24/3期予想

受注高・売上高：案件大型化、長期の運転・維持管理案件および北米事業拡大による増加
 利益：従業員処遇改善などを織り込み見直し。

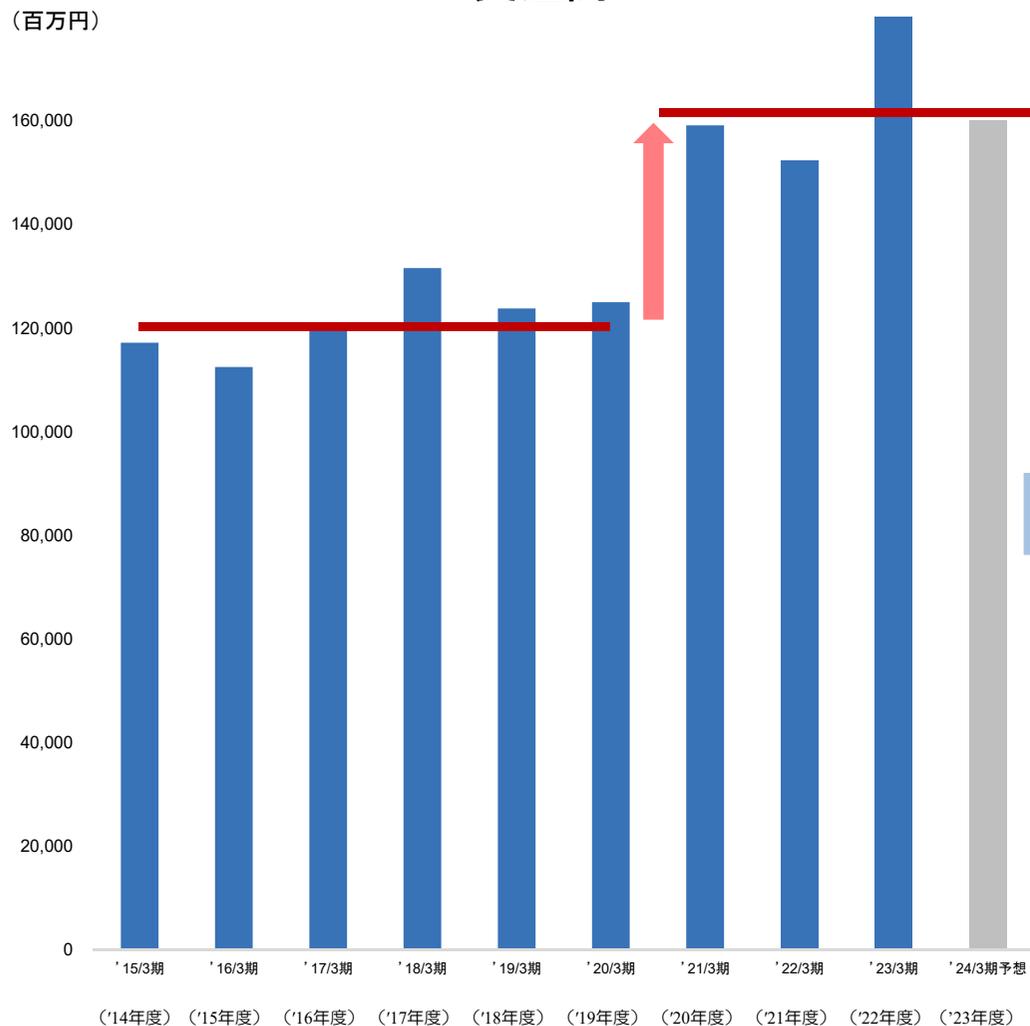
(億円)

(連結)	中期経営計画 2023 (2021年10月27日発表)	24/3期予想	増減
受注高	1,500	1,600	+100
売上高	1,450	1,550	+100
営業利益 (営業利益率)	105 (7.2%)	100 (6.5%)	▲5 (▲0.7%)
当期純利益	72	64	▲8
ROE	11%以上	10%以上	-

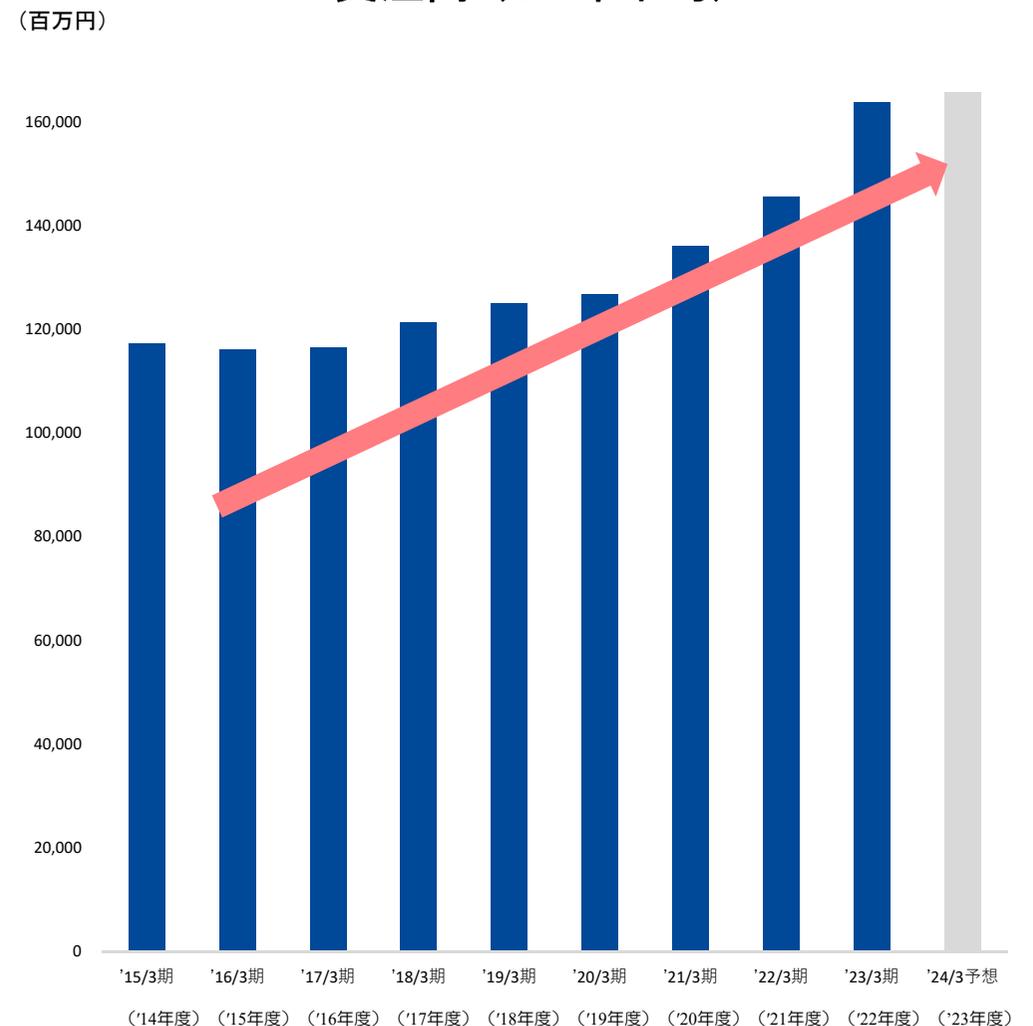
受注高の推移

受注高は1,600億円水準に増加。長期的成長トレンドへ

受注高

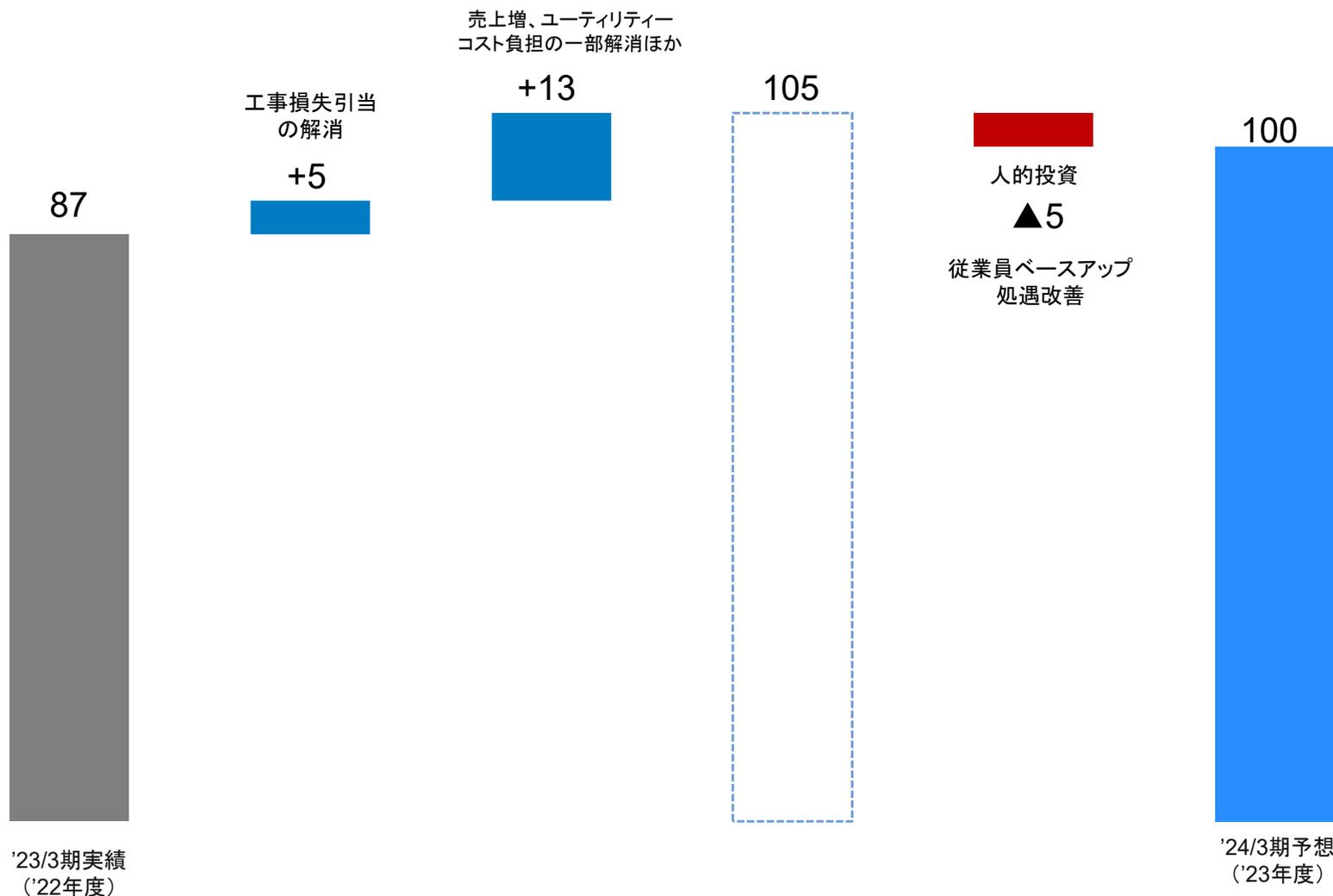


受注高 (3カ年平均)



営業利益増減要因('23/3期実績 vs '24/3期予想)

インフレ、物価高騰に伴う対策としての従業員処遇改善(給与ベースアップほか)などを織り込み、「中期経営計画2023」目標値を見直し。⇒ 営業利益100億円の基盤を確立



I 2023年3月期決算ハイライト

II 2024年3月期通期業績・配当予想

III 2023年3月期決算概要

Ⅲ 2023年3月期決算概要

- 1 連結損益計算書
- 2 セグメント別概況
- 3 地域別売上高
- 4 連結貸借対照表
- 5 連結キャッシュ・フローの状況

連結損益計算書

(億円)

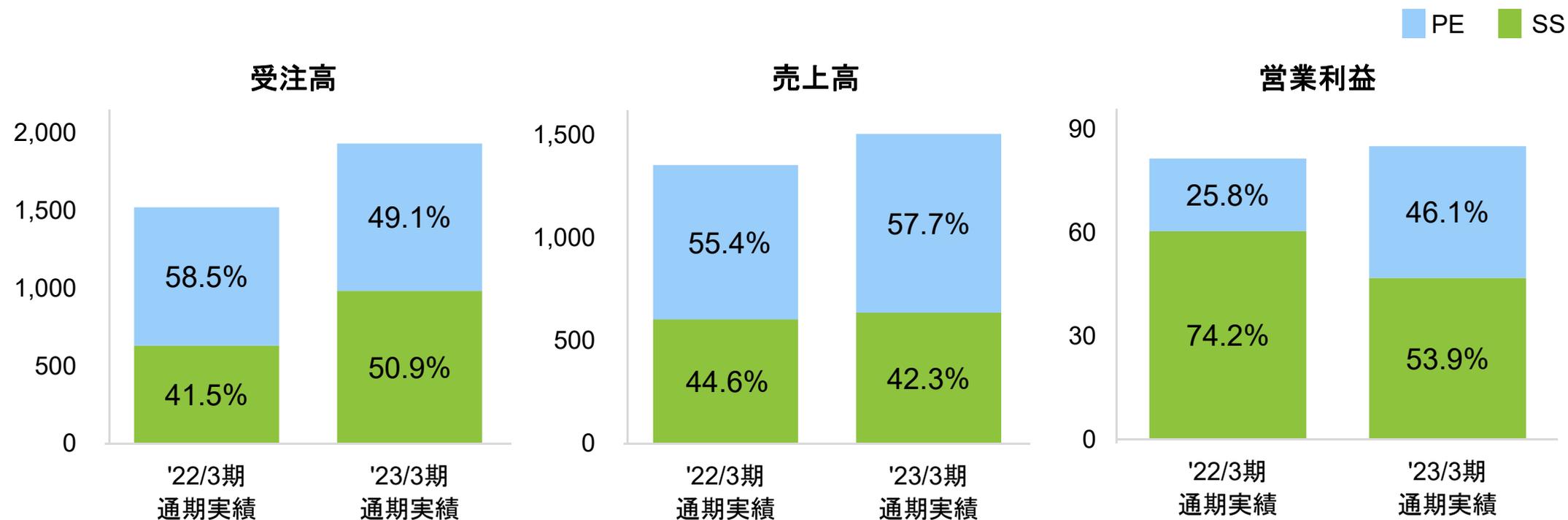
	'22/3期 通期実績	'23/3期 通期実績	増 減
売 上 高	1,356	1,507	+152
営 業 利 益	81	87	+5
(営 業 利 益 率)	6.0%	5.8%	▲0.2%
経 常 利 益	88	91	+3
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	62	63	+0

* 10百万円単位を四捨五入(以降の実績値も同様)

セグメント別概況（連結）

(億円)

	受注高			売上高			営業利益		
	'22/3期	'23/3期	増減	'22/3期	'23/3期	増減	'22/3期	'23/3期	増減
プラントエンジニアリング事業	891	949	+58	751	870	+119	21	40	+19
サービスソリューション事業	632	985	+353	605	637	+33	60	47	▲14
合計	1,523	1,934	+411	1,356	1,507	+152	81	87	+5



セグメント別概況（連結）

（億円）

	受注高			売上高			営業利益		
	'22/3期	'23/3期	増減	'22/3期	'23/3期	増減	'22/3期	'23/3期	増減
プラントエンジニアリング事業	891	949	+58	751	870	+119	21	40	+19
サービスソリューション事業	632	985	+353	605	637	+33	60	47	▲14
合計	1,523	1,934	+411	1,356	1,507	+152	81	87	+5

プラントエンジニアリング事業

【受注高・受注残高】

- ・受注高は、EPC事業、海外事業が好調に推移し前期を上回った。
- ・受注残高は、前期を79億円上回った。（'22/3期末 1,130億円 ⇒ '23/3期末 1,210億円）

【売上高・営業利益】

- ・EPC事業は、売上高および営業利益共に前期を上回った。
- ・海外事業は北米子会社の業績が好調に推移したことなどにより売上高および営業利益ともに前期を上回った。

サービスソリューション事業

【受注高・受注残高】

- ・受注高は、PPP事業において大型案件を受注したことなどにより、前期を大幅に上回った。
- ・受注残高は、前期を348億円上回った。（'22/3期末 730億円 ⇒ '23/3期末 1,077億円）

【売上高・営業利益】

- ・O&M事業は、売上高および営業利益ともに前期を下回った。
- ・PPP事業は、株式会社みずむすびマネジメントみやぎが順調に推移したことなどにより、売上高および営業利益共に前期を上回った。

地域別売上高

(億円)

	'22/3期 通期実績	'23/3期 通期実績	増 減	増 減 為替影響除く
日本	1,180	1,251	+71	+71
海外	176	256	+80	+43
米国	126	186	+60	+29
欧州	48	68	+20	+13
アジア	1	2	+1	+1
合計	1,356	1,507	+152	+114

連結貸借対照表

(億円)

	'22/3期 期末実績	'23/3期 期末実績	増 減
現金・預金	213	117	▲96
売上債権・契約資産	774	872	+98
棚卸資産	80	100	+20
その他	23	37	+14
流動資産計	1,089	1,126	+37
有形固定資産	45	52	+6
無形固定資産	105	125	+20
繰延税金資産	28	27	▲0
その他	63	96	+33
固定資産計	241	301	+59
総資産計	1,331	1,427	+96

	'22/3期 期末実績	'23/3期 期末実績	増 減
買入債務	380	393	+13
短期借入金 ^{*1} ₍₉₎	18	₍₉₎ 33	+15
契約負債	75	71	▲4
その他	97	95	▲1
流動負債計	570	592	+23
長期借入金 ^{*2} ₍₉₇₎	106	₍₁₁₁₎ 111	+5
その他	59	57	▲2
固定負債計	165	168	+3
負債計	735	761	+25
純資産計	595	666	+71
負債・純資産合計	1,331	1,427	+96

*1 *2 : カッコ内の数値はPFI等プロジェクトファイナンス・ローンの金額

連結キャッシュ・フローの状況

(億円)

	'22/3期 通期実績	'23/3期 通期実績	増 減
現金・現金同等物の前期残高	180	206	+26
営業キャッシュ・フロー	66	-43	▲110
投資キャッシュ・フロー	-38	-65	▲26
フリー・キャッシュ・フロー	28	-108	▲136
財務キャッシュ・フロー	-6	7	+13
現金・現金同等物に係る 換算差額等	4	5	+1
現金・現金同等物の期末残高	206	111	▲95

【参考】研究開発費・設備投資・減価償却費

(億円)

	'22/3期 通期実績	'23/3期 通期実績	増減
研 究 開 発 費	20	21	+1
設 備 投 資	28	26	▲2
減 価 償 却 費	15	16	+2

ディスクロージャーポリシー

1. 基本方針

当社グループは、企業理念に基づき、社会とともに持続的な発展を遂げるため、すべてのステークホルダーの皆様の期待にお応えし、社会から信頼され、社会に貢献し続ける企業グループを目指します。この考え方にのっとり、当社グループは、ステークホルダーの皆様や社会に対して当社グループに係る企業情報を公正・公平かつ適時・適切に開示するとともに、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションを図ることにより、当社グループに対する理解促進を図り、透明性・信頼性の高い経営に努めます。

2. 情報開示の基準

会社法、金融商品取引法などの諸法令および金融商品取引所の定める規則などにより開示が求められる企業情報について、それぞれの法令や規則などにのっとり、情報開示を行います。また、法令や規則などに該当しない企業情報であっても、ステークホルダーの皆様にも有用であると判断される情報や社会的に開示が必要と判断される情報について、可能な限り積極的に情報開示を行います。

3. 情報開示の方法

上記の法令や規則などにより開示が求められる企業情報については、それぞれの法令や規則などで定められた方法により情報開示を行うとともに、当社ホームページに掲載します。上記の法令や規則などに該当しない企業情報については、その重要性や緊急性を考慮し、報道機関や当社ホームページなどを通じて情報開示を行います。

4. 情報開示後のコミュニケーション

開示した情報に関して、会見、説明会、取材、問い合わせへの回答などを通じ、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションを図ります。また、コミュニケーションを通じてステークホルダーの皆様からいただいたご意見などは、当社グループ内で共有し、今後の参考とさせていただきます。

5. 沈黙期間

決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算（四半期決算を含む）期末日の翌日から決算発表までを沈黙期間とします。沈黙期間中は、業績予想の修正に関する情報開示を行った場合を除き、決算・業績見通しに関する会見、説明会、取材、問い合わせへの回答など差し控えます。

6. 将来の見通しについて

当社グループが開示する業績予想、戦略、目標などのうち将来の見通しに関する記述は、当社グループがその時点で入手している情報および合理的であると判断される一定の前提を根拠としており、実際の業績などは様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

7. 社内体制の整備

ディスクロージャーポリシーを遵守し、適切な情報開示およびステークホルダーの皆様とのコミュニケーションが図れるよう、社内体制を構築するとともに社内規程を整備します。



【本資料に関するお問い合わせ先】

メタウォーター株式会社 コーポレートコミュニケーション室 コーポレートコミュニケーション部

Tel:03-6853-7317 Fax:03-6853-8709 E-mail:pr@metawater.co.jp

補足資料 案件リスト

工事受注(10億円規模以上)

	案件名	都道府県	セグメント
1Q	芝原浄水場及び場外施設電気計装設備更新工事	福島県	PE
2Q	南部汚泥処理プラント汚泥焼却電気設備再構築その3工事	東京都	PE
	南部汚泥処理プラント汚泥処理電気設備再構築その6工事	東京都	PE
	新河岸水再生センター汚泥焼却設備再構築その3工事	東京都	PE
	新河岸水再生センター汚泥脱水設備再構築その5工事	東京都	PE
	森ヶ崎水再生センター(東)反応槽機械設備再構築その4工事	東京都	PE
	新小岩ポンプ所受変電設備再構築工事	東京都	PE
3Q	琵琶湖東北部浄化センター電気設備工事その31	滋賀県	PE
4Q	保呂羽浄水場再構築事業	宮城県	SS
	大阪市汚泥処理施設整備運営事業	大阪府	SS
	此花下水処理場水処理外設備工事	大阪府	PE
	東京都王子第二ポンプ所発電設備工事	東京都	PE

受注(海外)

	案件名	国	セグメント
2Q	ハンプトンロード浄水場向け セラミック膜	英国	PE
	チャーチ・ウィルン浄水場向け セラミック膜	英国	PE
	城北下水処理場向け オゾン発生システム	中国	PE